



2025 年 7 月 4 日

各 位

会 社 名 株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン  
代表者 代表取締役社長 石坂 信也  
(コード：3319 東証プライム)  
問合せ先 執行役員最高財務責任者 中村 怜  
(TEL. 03-5656-2888)

### 「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日付で開示した「株式会社 TGT ホールディングスによる当社株券等に対する公開買付けの結果並びにその他の関係会社及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」に記載のとおり、株式会社 TGT ホールディングスによる当社普通株式及び新株予約権に対する公開買付け（以下、「本公開買付け」といいます。）が成立したことを受け、2025 年 5 月 15 日付で開示した「2025 年 12 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」（以下、「第 1 四半期決算短信」といいます。）に記載しておりました「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

当社グループは、前連結会計年度において、親会社株主に帰属する当期純損失 1,698 百万円を計上し、3 百万円の債務超過となったことを受け、当社が複数の金融機関と締結している金銭消費貸借契約及び A 種優先株式を有する株主と締結している優先株式投資契約に定める財務制限条項の一部に抵触しました。また、2025 年 12 月期第 1 四半期連結累計期間においても、親会社株主に帰属する四半期純損失 1,575 百万円を計上し、1,354 百万円の債務超過となったことから、第 1 四半期決算短信において継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められるとして「継続企業の前提に関する重要事象等」及び「継続企業の前提に関する注記」を記載しておりました。

しかしながら、本公開買付けが成立したことに伴い、財務制限条項に抵触した上述の金銭消費貸借契約及び優先株式投資契約については、当該金融機関及び A 種優先株式を有する株主との協議により、2025 年 12 月末までは期限の利益喪失に伴う権利行使をしない旨の同意を得ていること、並びに、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況は一部存在するものの、本公開買付けが成立したことにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められなくなったと判断し、「継続企業の前提に関する注記」の解消を決定したものであります。

株主の皆様、取引先をはじめとする関係者の皆様には、多大なるご心配をおかけしましたが、今後とも更なる事業収益の改善と財務基盤の安定化に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以 上